

# 『Mind Charging』

第 214 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 2 月 16 日

## アイルトン・セナの名言



### この世に生を受けたこと、 それ自体が最大のチャンス。

1994年にイタリア・サンマリノにて開催されたF1 (Formula One:フォーミュラ・ワン) サンマリノ GP のレース中に悲運の事故死で残念ながらこの世を去ってしまいましたが、『音速の貴公子』と呼ばれ、1988年・1990年・1991年に三度のチャンピオンに輝いた伝説のF1ドライバーです。日本でも非常に人気があり、当時バラエティ番組出演のため来日し、レーシングカート対決で高い運転技術を披露したことも大きな話題になりました。今回の言葉は、彼自身が本当に言葉通りに人生を歩んだのだろうと想像できる言葉です。『せっかく生まれてきたんだから精一杯チャレンジするんだ！』と飛び込み、圧倒的な成果を挙げたF1の世界。『最大のチャンスを最大限に活用した人物としてまだまだ活躍してファンのみならず、世界中の人々を魅了してくれていたはずなのに・・・』と、F1ファンではない私でさえ思いますし、当時はアイルトン・セナという天才ドライバーの存在は非常に高い認知度を誇っていました。

同じような意味で『誰もが生まれてきた意味がある』というような言葉をよく耳にします。間違いなく生まれてきた時点でご両親は大変喜んでくれたはずですが、そういう意味では生まれた瞬間に最初の親孝行という非常に素晴らしいことを成し遂げていると言えます。そして今、みなさんが高校生として輝く未来に向かって邁進していることも、ご両親をはじめとしたみなさんを応援して下さっている方々にとって非常に大きな意味があると思います。変な言い方かもしれませんが、みなさんが生きている『だけ』でも意味があるのです。日々のやり取りの中で『せっかくだから』『どうせなら』という言葉はよく飛び交います。それも今回の言葉にある『チャンス』と言えるはずですが、既に存在そのものが誰かに貢献できているのなら、どんどん成長することで、より多くの人にとって意味のある存在になれるのではないのでしょうか。そして、それが自分にとって大きな誇りになると私は思います。チャンスを大きく活かせる人が正智深谷高校には大勢いると信じています！（編集委員：入試広報室 鈴木）

アイルトン・セナ・ダ・シルバ (Ayrton Senna da Silva, 1960年3月21日 - 1994年5月1日) は、ブラジル人のレーシングドライバー。F1世界選手権において、1988年・1990年・1991年と、計3度ワールドチャンピオンを獲得した。

(Wikipedia 参照)